

4 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 8日

千葉県知事 様

提出者

住 所 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

氏 名 東洋エンジニアリング(株) 取締役社長 永松治夫

電話番号 047-454-1696 Fax:0474-54-1830

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通2
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 06総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 約342億円
③ 従業員数	約200人(計画期間の平均人数)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	排出した廃棄物はすべて収集運搬業者および処分業者へ委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 排出事業者：東洋エンジニアリング(株)千葉本社 ↓ プロジェクト本部(環境マネジメントに係る支援はHSEマネジメント部が実施) ↓ 市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事 統括安全衛生責任者(現場代理人) ↓ 産業廃棄物管理責任者(元方安全衛生管理者)及び協力会社の安全衛生管理者(各協力会社の所長) ↓ 契約 ↓ 各産業廃棄物委託業者(収集運搬業者および処分業者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項—別紙の通り			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 他8種類
	排出量	996 t	730 t
	(これまでに実施した取組) 令和3年度に杭打ち・オーガー工事に伴う廃土により多量の建設汚泥は減少しましたが、令和4年度は建設工事のうちボイラー建屋、燃料貯留槽、タービン建屋など大規模建屋工事に伴い発生するコンガラ/木くず/がれき類/安定/管理型混合廃棄物が多く排出し、減量・リサイクルに努めましたが多量に発生しました。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 他6種類
	排出量	100 t	400 t
	(今後実施する予定の取組) 令和5年度は工期の最終年度であり、大規模建屋建設がほぼ終了して今後は運転準備および試運転機関となりますので、廃棄物発生量は1,000ton未満と推定しますが、これまで以上に減量およびリサイクルに努めます。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別については複数の安全衛生管理者による毎日のパトロールにて厳しくチェックしています。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別については協力会社から選任された安全衛生管理者を含めて毎日のパトロールにてさらに厳しくチェックしていきます。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項—別紙の通り			
① 現状	【前年度（                      4度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 他8種類
	全処理委託量	996	730
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	996	730
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 積極的に再利用率が高い委託業者に引き取ってもらうようにしています。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 他6種類
	全処理委託量	100	400
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	100	400
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も引き続き積極的に再利用率が高い委託業者に引き取ってもら うようにして、減量化・リサイクル率をさらに高めたいと考えていま す。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙) 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

(事業所の名称)

東洋エンジニアリング㈱千葉本社(市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事)

実績：前年度（令和4年度）実績量  
 目標：今年度（令和5年度）目標量

単位：トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
コンクリート破片	123.45	80.00									123.45	80.00			123.45	80.00				
アスファルト・コンクリート破片	0.00	0.00									0.00	0.00			0.00	0.00				
がれき類	310.36	100.00									310.36	100.00			310.36	100.00				
廃プラスチック類	0.35	10.00									0.35	10.00			0.35	10.00				
金属くず	1.13	10.00									1.13	10.00			1.13	10.00				
安定型混合廃棄物	194.61	100.00									194.61	100.00			194.61	100.00				
木くず	996.33	100.00									996.33	100.00			996.33	100.00				
繊維くず	0.00	0.00									0.00	0.00			0.00	0.00				
廃石膏ボード	13.32	0.00									13.32	0.00			13.32	0.00				
管理型混合廃棄物	56.42	100.00									56.42	100.00			56.42	100.00				
特別管理廃棄物 廃石綿		0.00										0.00				0.00				
引火性廃油(有害)		0.00										0.00				0.00				
強アルカリ		0.00										0.00				0.00				
廃酸		0.00										0.00				0.00				
廃油(無害)		0.00										0.00				0.00				
紙くず		0.00										0.00				0.00				
汚泥	0.00	0.00									0.00	0.00			0.00	0.00				
ガラス屑・陶磁器屑	30.50	0.00									30.50	0.00			30.50	0.00				
合計	1,726.47	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,726.47	500.00	0.00	0.00	1,726.47	500.00	0	0	0	0